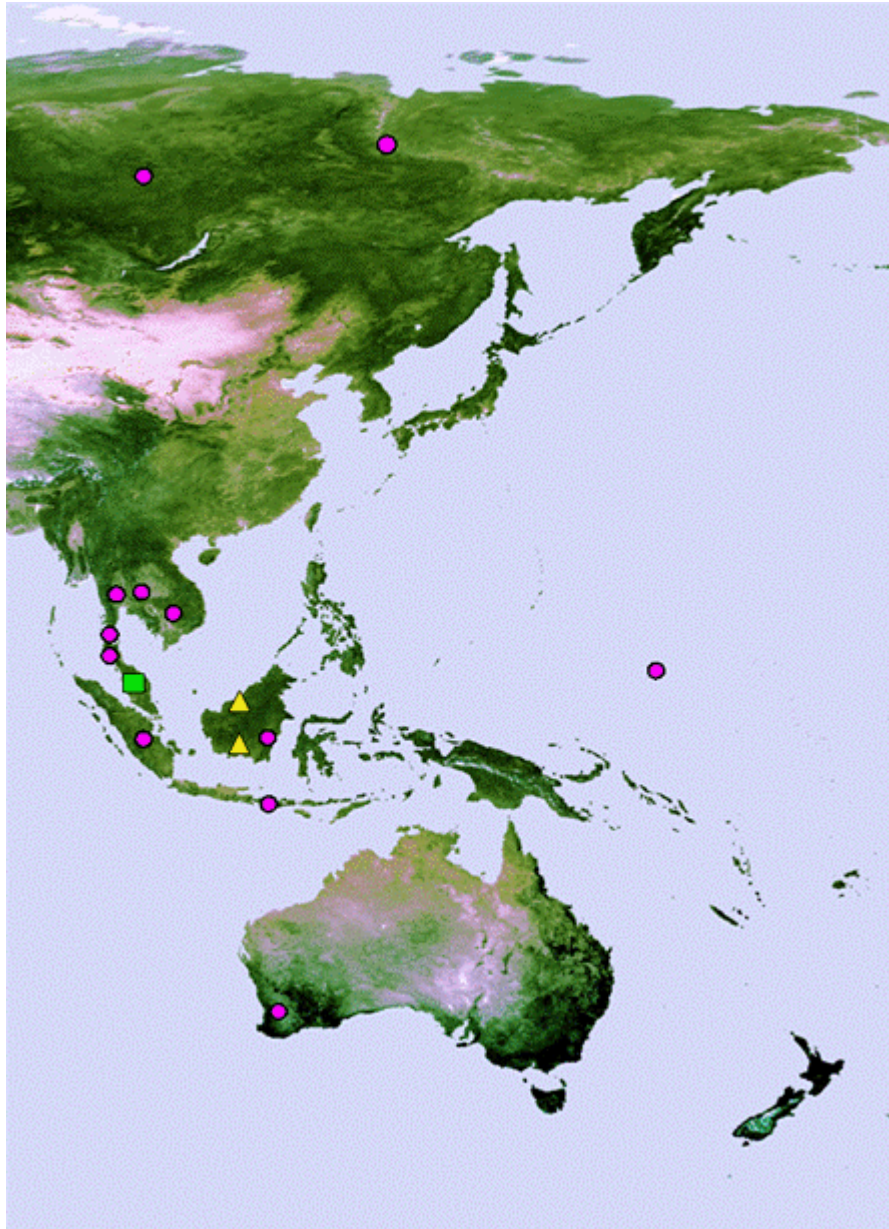


アジア周辺の森林モニタリングサイトの例



ロシア、東シベリア、ヤクーツク

ロシア、中央シベリア、トゥラ

タイ、カンチャナブリ、メェクロン

タイ、ナコンラチャシマ、サカエラート

タイ、ラノン(森林総研、チュロンコン大、JIRCAS)

タイ、トラン

カンボジア、コンポントム

マレーシア、セマンゴック

マレーシア、パソー

(森林総研、国環研、大学他:多雨林)

マレーシア、サラワク、ランビル

(大市大、京大:多雨林)

インドネシア、スマトラ

インドネシア、東カリマンタン

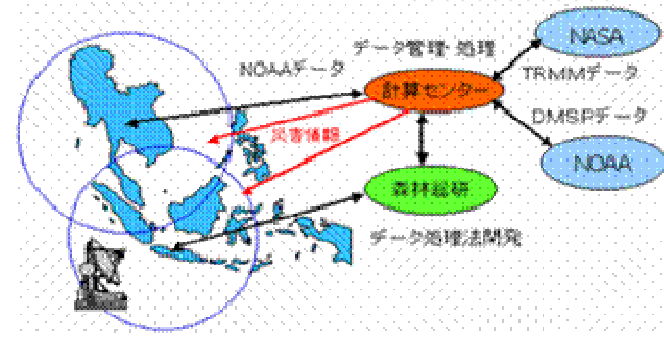
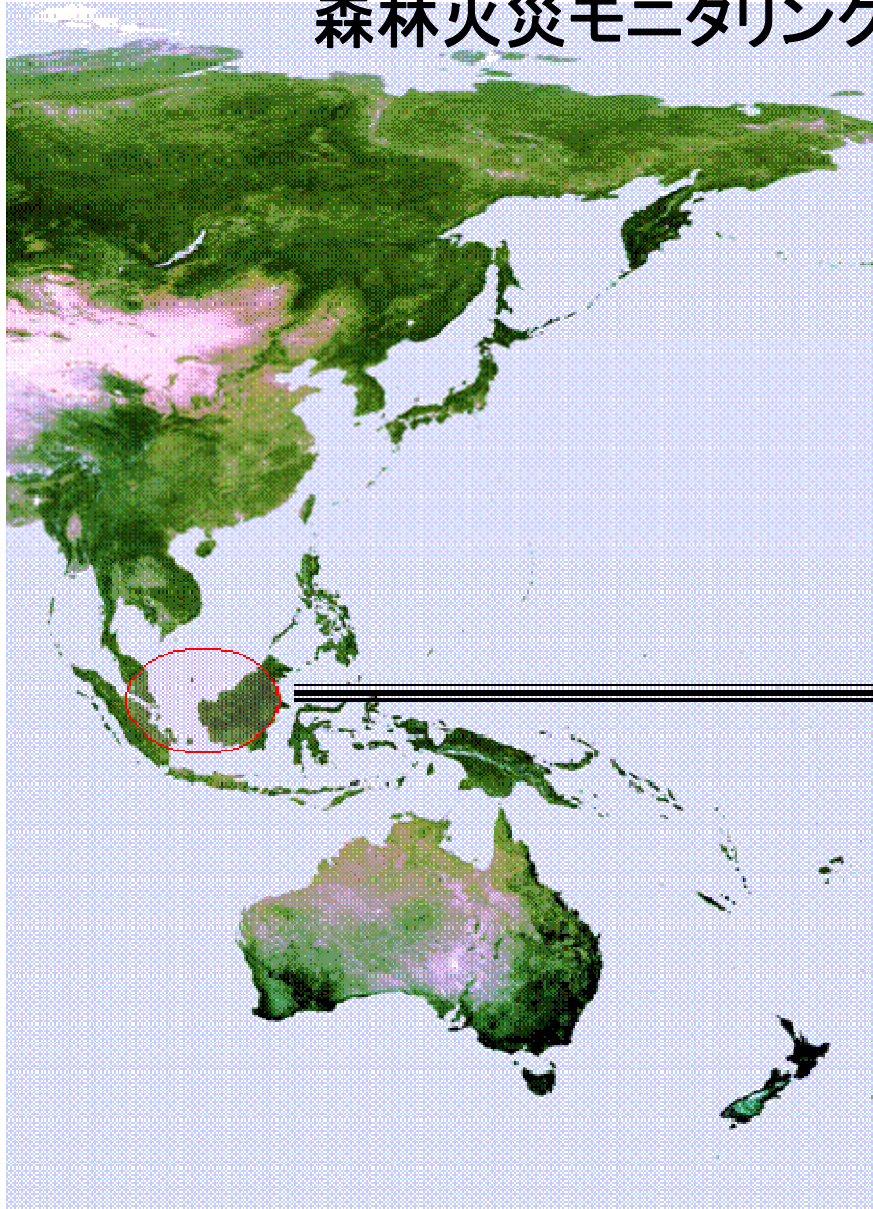
インドネシア、中央カリマンタン

(北大、泥炭湿地)

ミクロネシア、ポンペイ州

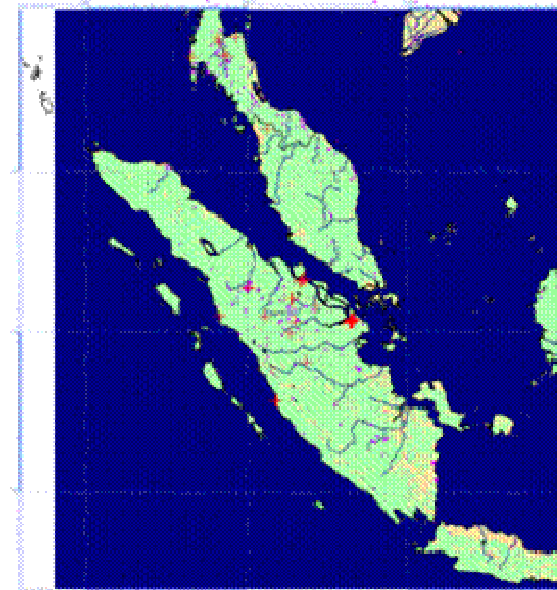
オーストラリア、西オーストラリア州

森林火災モニタリング



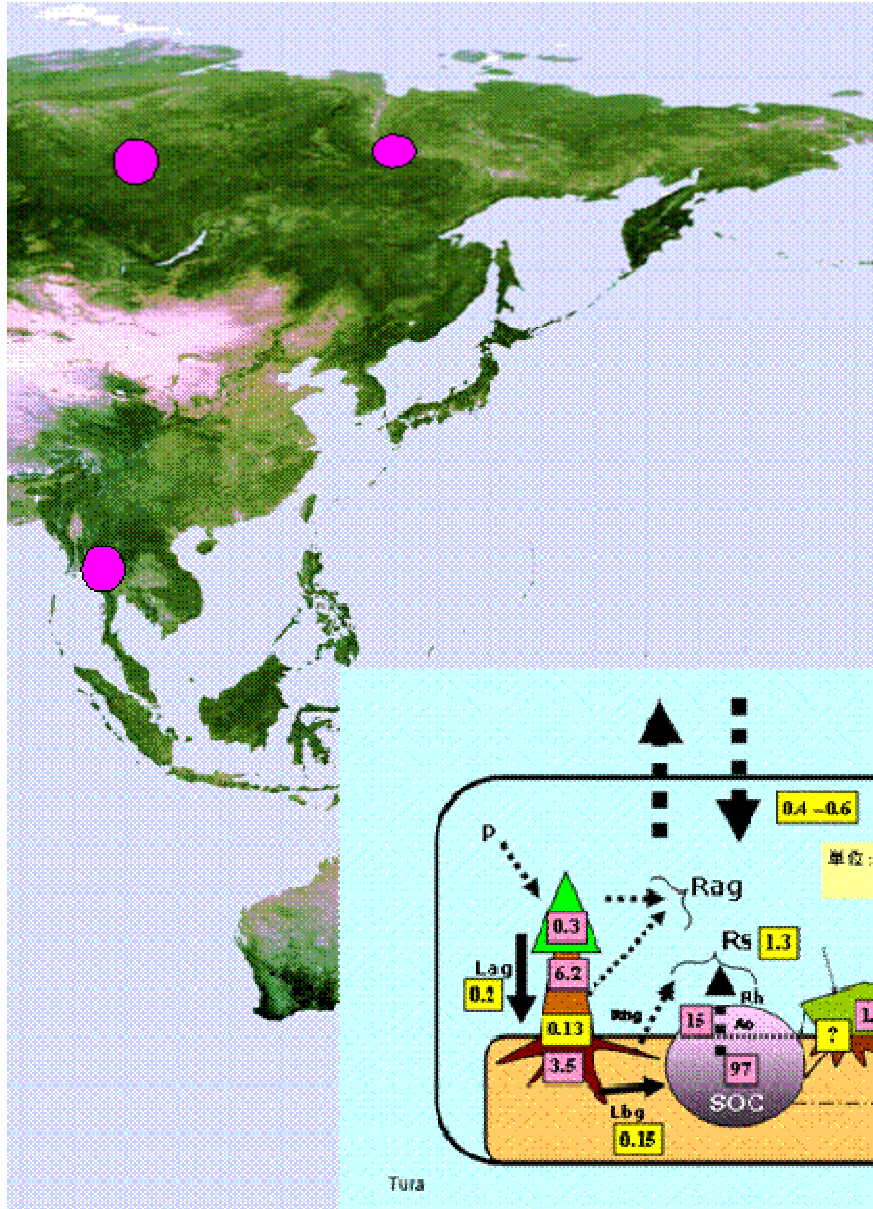
衛星データによる
森林火災モニタリング
↓
森林生態系自体の
存続/消失

Detecting fire in Sumatra (Mar 07 2003)



NOAA hotspots
DMSP-OLS Night detects

NFVI
0.60 - 1.00
0.20 - 0.59
-0.00 - 0.19



他項目とのカップリング例-1 CO₂Flux観測システム

シベリア
カンチャナブリ(タイ)

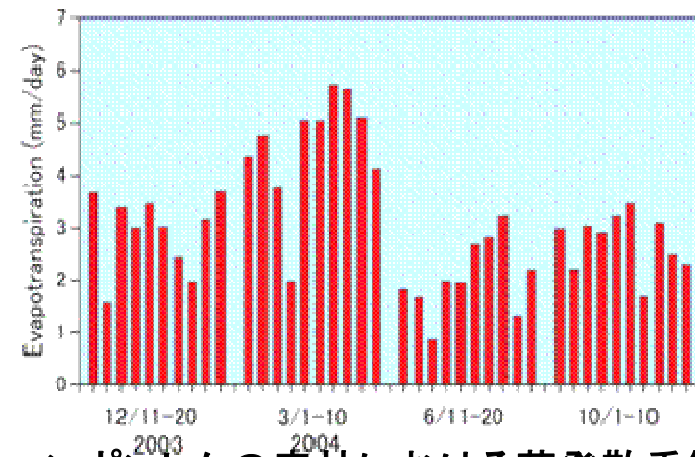
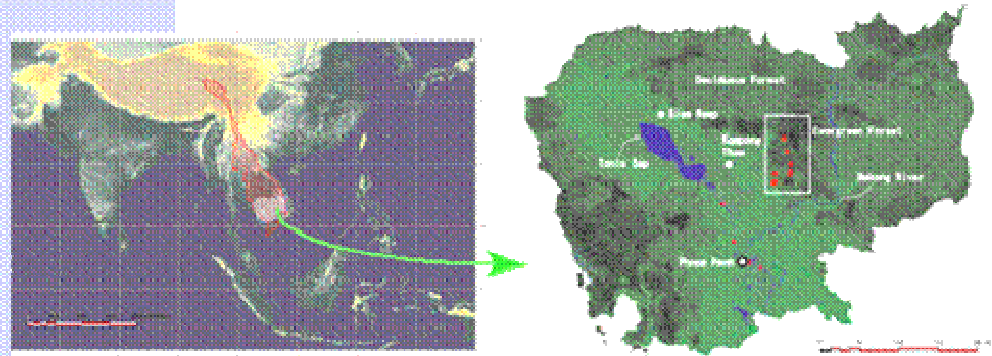
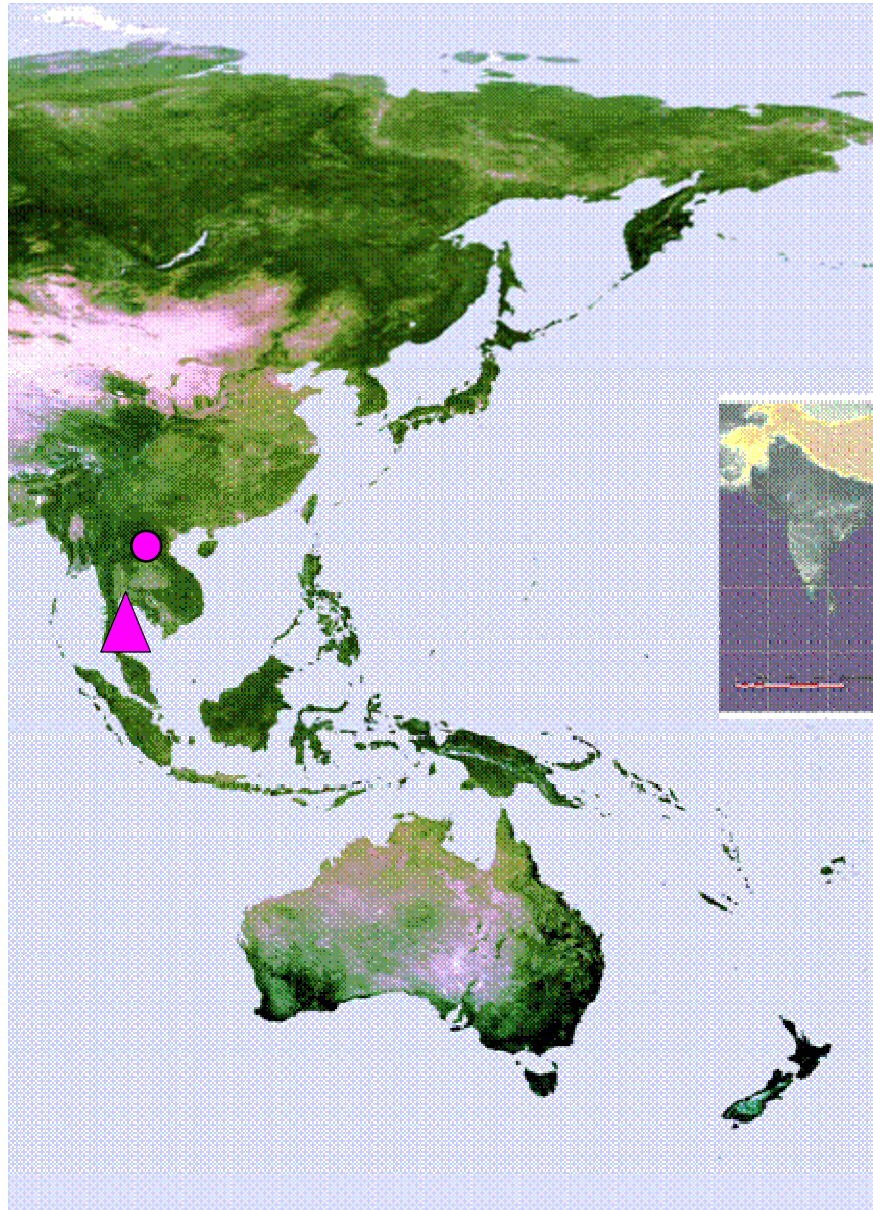


中央シベリアのflux観測タワー

他項目とのカップリング例-2


水・熱収支観測

- コンポントム(カンボジア)
- パソー(マレーシア)



コンポントムの森林における蒸発散季節変動(2003-2004年)

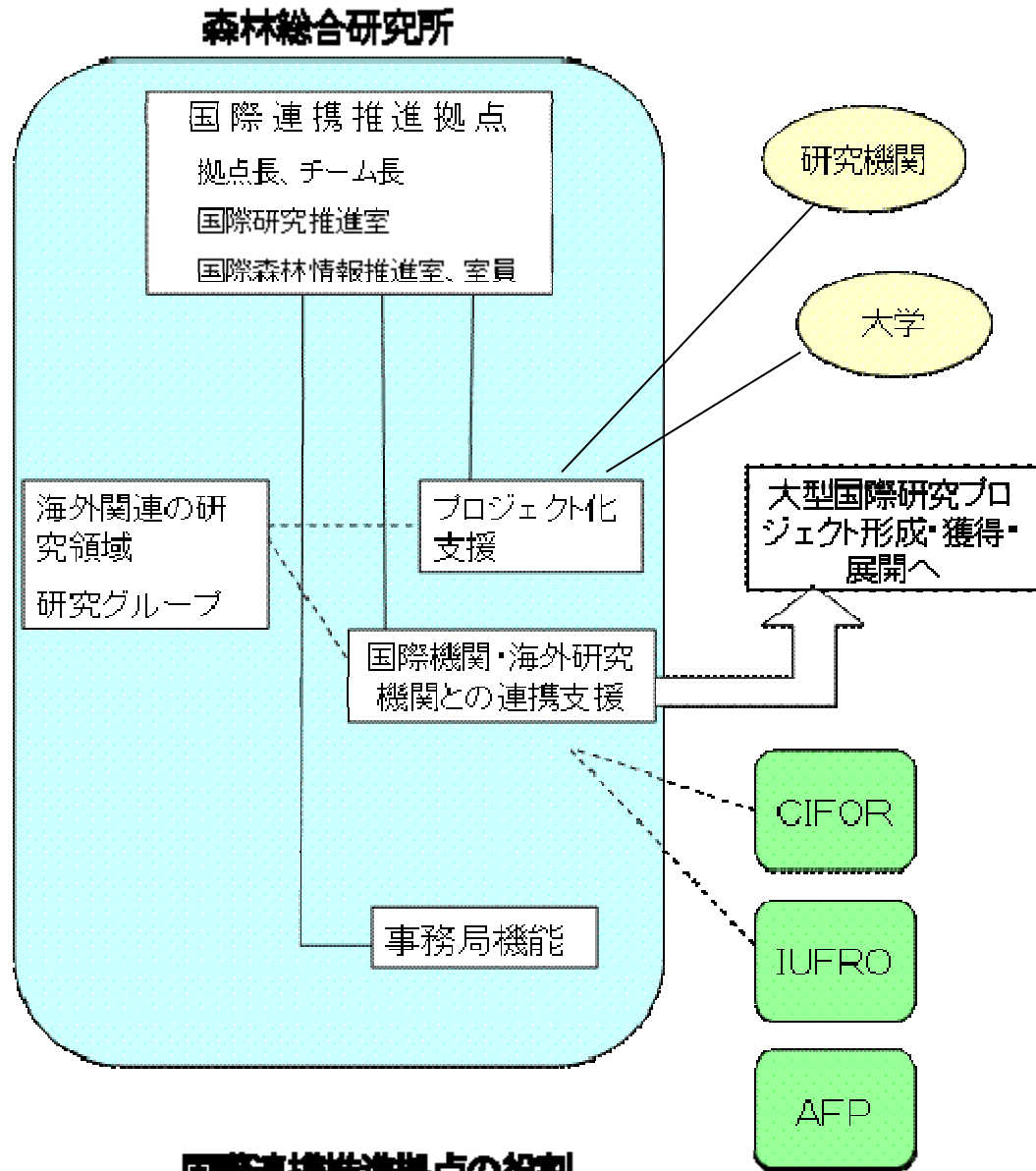
モニタリング維持のための課題

- 組織的・予算的な裏づけ
 - 単発的、個人的な関係を元にしたもの
 - 科振調(二国間型)、科研費補助金、環境省予算、民間からの研究補助etc.
- 
- 組織立った長期的な展開へ
 - 要員の確保
 - キーパーソン
 - 新たな研究参画者
 - 効率的なプロジェクト化
 - 無駄な重複を避ける(多くのグループとの連携により)
 - 相手国にとっても理解しやすい体制作り
 - 研究グループのネットワーク化へ

国際連携推進拠点の目指すもの

- 実効性ある森林持続的利用、保全のために
- 世界の森林研究に関わる幅広い
 - 研究機関・研究者グループ
 - 支援機関・グループ・行政機関
- 効率的ネットワーク化の核として
 - 情報、知識の共有推進

ネットワーク構築に向けた活動



国際連携推進拠点の役割

国際連携推進ワークショップ

知の共有を目指して：
森の恵みと人とのかかわりを探る

山田 勇 (京都大学大学院)	森林研究の新たな展開に向けて： 日本の森林研究から見た未来図
沢田治雄 (森林総合研究所)	森林総合研究所における国際森林研究： これまでの流れと今後の展開
田中耕司 (京都大学)	森林と人として社会： 地域研究の意義から
古川 賢 (京都大学)	手紙を通しての森林研究-その課題と向き
奥田敬統 (京都大学)	エコシステムアプローチによる森林保全の試み
藤尾 元 (京都大学)	森林管理と広域連携： スマートセンシングは本当に使えるのか
永目伊知郎 (京都大学)	我が国の海外森林-林業能力の課題 富山学に加えて市民社会とのパートナーシップ

2007年1月14日(日) 10:30-17:00
 東京大学 弥生講堂一条ホール
 (入場無料)
 主催：(独) 森林総合研究所
 後援(予定)：
 日本生態学協会、日本森林学会

入場は無料ですが、参加資料の準備等にございまして、集められる方は、森林総研の
 長野県 (mailto:forestoffice@affrc.affrc.go.jp) から事前にご連絡ください。お問い合わせは、

活動の一環